

夜間津波避難訓練の結果を報告します

3月に2日間に分けて実施しました夜間津波避難訓練には、計907人の参加がありました。地区別詳細は以下のとおりです。

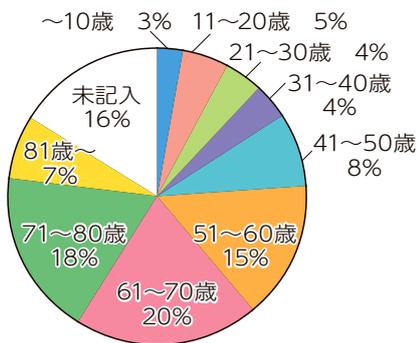
実施日	地区	参加者数
3月1日	菅島	204人
	坂手	144人
3月3日	桃取	342人
	神島	217人

今回の訓練では、避難した訓練参加者にアンケートを実施し、以下の結果が得られました。



アンケート結果

参加者年齢内訳



性別は？ 男性43% 女性57%

避難目標時間までに避難できましたか？
目標クリア99% 目標オーバー1%

懐中電灯を持って避難しましたか？
はい85% いいえ15%

家族や近所の人と避難してきましたか？
はい86% いいえ14%

避難中に危ないところや困ったことはありませんか？
はい18% いいえ82%

訓練参加者のうち51歳以上が6割を占め、若年層の参加が少なくなっています。これは、昨年の11月に他の地区で実施した際と同じ傾向です。また、「避難場所の環境の改善」「避難路が悪路でなかつ暗い」「上からの落下物が怖い」という意見もありました。いざというときのために、ひとりひとりが懐中電灯を準備したり、地域で自力での避難が困難なかの把握や支援方法の検討、避難場所に防災倉庫や資機材を準備するなど、自助・共助により備えておきましょう。

総務課防災危機管理室



☎ (25) 1118

一人一人が備えてこい！
防災力UP！鳥羽

vol.46



2月24日金曜日に、プレミアムフライデーが始まりました。これは、経済産業省と日本経済団体連合会などの経済界の団体が、毎月末の金曜日に午後3時をめぐりに仕事を早く切り上げ買い物や旅行、娯楽などの個人消費の喚起と長時間労働の是正など働き方改革にもつながるよう行うキャンペーンです。

報道番組での街頭インタビューでも「勤務中です」「うちは導入していません」「サービス業です」など、まだまだ導入している会社は少ないようです。

そんな中、主婦へのインタビューでは手厳しい意見がありました。「飲みに行く時間が早くなるだけ」「酒量が増えるだけ」「早く帰ってきてもらったら困る」など反対の意見が多いようです。

確かに主婦のみなさんにとっては、早く帰ってこられ

ても夕食の用意はまだだし、ゴロゴロされても困る。かといって、飲みに行かれても家計が大変とあまりメリットを感じていないようです。

そこで、一つ提案があります。プレミアムフライデーをワーク・ライフ・バランスを考えるきっかけとして、家族と過ごす大切な時間として活用してみたいかがでしょうか。

普段は、その時間に家庭にいないわけですから例えば、子どものお迎えや一緒に遊ぶ、家族で買い物、夕食作りなどをします。

家族や両親との会話を楽しんでんだり、大切な誰かをねぎらう日として過ごしてみたいかがでしょうか。大切な時間が生まれるのではないのでしょうか。

イコール
パートナー
シップ

Vol.125



プレミアム
フライデー

市民課人権・生活係
☎ (25) 1126